



きくよう



目次

◎表紙

二十歳の声	P 2
今年の抱負	P 3
定例会・臨時会	P 4～5
一般質問	P 6～17

常任委員会報告	P18～19
研修報告	P20
議会の活動状況	P21～22
菊陽町で活躍するみなさま	P23
Tea Time	P24

二十歳の声

今年度、菊陽町二十歳の成人式に参加された方に抱負や菊陽町に対する思いなどを聞いてみました。



成人式を迎えて、時の流れの速さに驚きを隠せません。中学を卒業して約5年、久しく顔を合わせた仲間の顔ぶりは一段と大人びていました。当時、曖昧で壮大だった将来の夢は明確で現実的なものになっており、どこか嬉しいようで寂しいような気持ちになりました。それでも、現実と正面から向き合い、社会で強く生きてくる姿に感動しました。

自分も4月から社会人になります。まだ、目の前には真っ暗な世界が広がっていますが、仲間とともに力強い一歩を踏み出していこうと思います。

ふるしょう としゆき
古庄 寿行

二十歳の成人式を迎えられたこと、大変嬉しく思います。これまで支えてくださった家族や先生方、地域の皆さまに心より感謝申し上げます。

私が育ったこの菊陽町には、多くの思い出と学びが詰まっています。この町での経験や出会いが、将来を支える礎になると感じています。

二十歳という節目を迎え、今後はより責任を持って行動し、社会の一員として成長し続けたいです。周囲への感謝を忘れず、一步一步前向きに進んでいきます。本当にありがとうございました。



おくむら えいき
奥村 瑛輝



私を厳しくも慈しみ大事に育ててくれた家族や私を支え励ましあった友人のおかげで、二十歳の節目を迎える事が出来ました。まだまだこれからの先の人生に様々な苦難があると思いますが、それらを乗り越え、立派な大人となり家族に恩返しができるよう精進していきたいです。

しが みき
志賀 美木

今日成人式を迎え、改めて自分がどれだけたくさんの人に支えて貰っていたか実感しました。共に助け合いながら成長してきた友人はもちろん、サッカークラブで沢山の思い出を共にした仲間やスタッフ、職場で出会った信頼出来る先輩方、そしてなによりも20年間側で寄り添って支えてくれた家族に心から感謝したいです。これからも、周りへの感謝の気持ちを忘れず、自分らしく成長し、社会へ貢献できるよう努力していきたいと思っています。



かね こ ちなつ
金子 千夏

2025年 巳 今年の抱負



福島知雄

子どもから大人まで
誰もが住みやすい
まちづくり



坂本秀則

町民の利益に繋がる
政策を提言してまい
ります



小林久美子

町民の声を町政に届
け、暮らしに希望を



上田茂政

水と農業
暮らしを守ります！



甲斐榮治

初心を忘れず、
よく聴きよく学び
しっかり判断します



佐藤竜巳

地域の実情を探り
町と連携し活気ある
町づくりを



布田 悟

信頼される議会は
信頼される議員から



岩下和高

暮らしやすい町造り
の町政を考え仕事を
する！



中岡敏博

皆さんのため、安全・
安心のまちづくりに
努めます



佐々木理美子

皆さまの声をしっかり
聞き、住み良い町
を共にめざす



西本友春

現場の皆様の声が町
政に反映できるよう
努めます



大久保輝

安心して暮らせるま
ちづくりに取り組み
ます



矢野厚子

成長しつづける町と
共に自身も成長へ努
力!!



廣瀬英二

課題解決と近未来の
まちづくりを前へ!!



馬場功世

南校区の発展と均衡
あるまちづくりの推
進



藤本昭文

初心忘れず、住民目
線では是、非は非
の判断



吉村恭輔

皆様の不安が一つで
も無くなるよう取り
組めます



鬼塚 洋

皆様の声を聴き、昨
年以上に議員活動に
尽力します



令和6年第4回菊陽町議会定例会

12月3日～13日

付議事件

- ◇承認第4号 専決処分の承認を求めること（令和6年度菊陽町一般会計補正予算（第4号））
- ◇議案第71号 菊陽町一般職の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定
- ◇議案第72号 菊陽町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定
- ◇議案第73号 菊陽町地域包括支援センターの職員等に関する基準を定める条例及び菊陽町指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定
- ◇議案第74号 令和6年度菊陽町一般会計補正予算（第5号）
- ◇議案第75号 令和6年度菊陽町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- ◇議案第76号 令和6年度菊陽町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- ◇議案第77号 令和6年度菊陽町介護保険特別会計補正予算（第2号）
- ◇議案第78号 令和6年度菊陽町下水道事業会計補正予算（第1号）
- ◇議案第79号 熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更
- ◇諮問第2号 人権擁護委員の推薦
- ◇発議第9号 小中学校の大規模改造（空調（冷暖房設備）整備）事業の促進に関する意見書（案）

議案第74号

令和6年度菊陽町一般会計補正予算（第5号）

〈反対討論〉

アーバンスポーツ施設については基盤整備も入った農地に建設をされること、またTSMCの進出で交通渋滞や地価高騰対策等を優先するべき。

また、維持管理費が膨大になる懸念がある。

〈賛成討論〉

アーバンスポーツ施設と多目的グラウンド等の公園拡張整備事業は、町民の憩いの場として、また新たな賑わいの拠点として整備する目的で昨年度の補正予算で承認したものである。その後町は世界大会等の誘致を目指すものとして県と連携協定を結んでいる。

確かに金額は大きいが世界大会や国内大会のほか合宿も誘致可能な西日本最大規模の施設として県内外から誘致を図りながら、今後の菊陽町の発展につながるべき。

■議員の賛否を公開します

○は賛成 ●は反対 棄は棄権 除は除斥 欠は欠席 早は早退

議案番号等	結果	表決数		鬼塚	吉村	藤本	馬場	廣瀬	矢野	大久保	西本	佐々木	中岡	布田	佐藤	甲斐	岩下	上田	小林	坂本
		賛成	反対																	
議案第74号	認定	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

結果は、可決・否決・同意・適任・採択・不採択・承認・認定・継続審査 ※報告は採決がないため削除

※議長は議事進行のため賛否表明はしません。

※賛否の分かれた議案のみ掲載しています。（それ以外は原案のとおり可決）

議案71～73、75～79号は原案のとおり可決

令和6年第4回菊陽町議会臨時会 10月8日

付議事件

- ◇議案第67号 工事請負契約の締結（菊陽杉並木公園拡張整備水路改築工事）
- ◇議案第68号 工事請負契約の締結（菊陽杉並木公園拡張整備造成工事（1））
- ◇議案第69号 工事請負契約の締結（菊陽杉並木公園拡張整備造成工事（2））
- ◇議案第70号 工事請負契約の締結（菊陽町防災行政無線デジタル同報系設備更新工事）

議案第67号

工事請負契約の締結
（菊陽杉並木公園拡張整備水路改築工事）

Q 当該用地の収用は済んでいるのか。

A 全て所有権移転登記が完了している。

議案第69号

工事請負契約の締結
（菊陽杉並木公園拡張整備造成工事（2））

Q 議案第68号の造成工事とおおむね同じような請負契約だと思うが、契約を2つに分けた理由は。

A 工事進捗を図る中で、数を増やした方が早く終わるため。

菊陽杉並木公園拡張整備 計画平面図（基本設計）



※令和6年6月28日時点

議案第70号

工事請負契約の締結
（菊陽町防災行政無線デジタル同報系設備更新工事）

Q 全体で59か所の設備があり、今回更新する所が記入されているが、更新しない所は16QAM方式でやっているのか。

A 更新しない所は16QAM方式を採用している。

議案67、70号は原案のとおり可決

町の考えを問う 一般質問



うえだ しげまさ 町立みどり園・なかよし園の
上田 茂政 今後の計画は …P 7

ひろせ えいじ 巡回バスと駅結節を図るダイヤ改正は
廣瀬 英二 …P 8

やの あつこ 町長公約独自の奨学金の拡充と
矢野 厚子 その実施時期は …P 9

かい えいじ 水量・水質保全への理解と協力は
甲斐 榮治 得られるか …P10

にしもと ともはる みどり園のフェンスは低いので
西本 友春 侵入対策を …P11

おおく ぼ あきら 今後の管理運営業務の
大久保 輝 委託先選定方法は …P12

よしむら きょうすけ 菊陽町における農家数は
吉村 恭輔 10年前と比べ増減は …P13

ばば こうせい 県道瀬田熊本線のバイパスについて、
馬場 功世 進捗状況は …P14

ふじもと あきふみ 町内の防犯灯設置状況について
藤本 昭文 …P15

おにつか よう 今後、農商工業者の支援をどのように
鬼塚 洋 強化していくのか …P16

こばやし くみこ 基盤整備した農地は
小林久美子 守るべきではないか …P17

一般質問は会議録に基づき、質問者本人が編集し、議会広報特別委員会で校正し、掲載しています。

Q 町立みどり園・なかよし園の今後の計画は

A みどり園は令和9年度以降に計画・なかよし園は現地建替えの方針



うえだ しげまさ
上田 茂政 議員



Q 現在、新たな認可保育所の整備事業が進んでいるが、町立みどり園については、今後の計画はどうなっているか。

A みどり園の園舎は、鉄筋コンクリート造りの平屋建てとして、28年以上が経過している。改修については、今後築30年以上となる令和9年度以降に大規模改修に向けた基本設計などの準備を行っていききたい。

Q みどり園より老朽化が進むなかよし園の建替えについては、どうなっているのか。

A なかよし園については、築45年が経過しており、建替えについては、早期に行うべきと判断している。令和7年から令和8年までの期間を目標としている。建替え場所については、検討した結果、現地建替えの方針で決定している。

Q 建替えるのであれば、保育園だけでなく、高齢者への対応も一緒に検討できないか。

A なかよし園の建替えにあたっては、高齢者や地域の方々と交流ができる地域交流室や相談室など計画したいと考えている。



健康保健センターの計画は

Q 健康保健センターについては、どのような計画でどこまで進んでいるのか。

A 健康保健センターについては、令和6年7月に設置された「菊陽町役場庁舎等整備検討委員会」で具体的な検討を始めている。

Q その内容はどうなっているのか。

A 2回検討委員会を開催し、施設の複合化、庁舎整備などの財源、庁舎等整備のスケジュールなど審議されている。保健セ

ンターについては、他市町村も参考にした施設の機能や規模を検討中である。

モノレールやBRTを検討しているのか

Q 原水駅からセミコンパークまで、モノレールの敷設ができないか。概算としてどの位かかるのか。

A モノレールについては、概算を含め、検討している状況ではない。令和2年12月に県が開催した第一回空港アクセス検討委員会で、モノレールの整備に関する事業費が示されている。モノレールについては、ルートや地形、地質などの影響を受けるため、多額の費用が必要である。

Q 現行のシャトルバスをBRT化するわけではないか。(BRTとは、バスを基盤とした都市大量輸送システムで、バス高速輸送システムと呼ばれている。建設費用も鉄道に比べて安価である。)

A BRTについては、県と連携しながら具体化に向けて検討を進めることにしている。今後、民間事業者の知見をいかしながら、検討していく。



Q 第2原水工業団地の南側土地取得の進捗状況はどうなっているのか。

A 現在委託業務を実施しており、来年の2月ごろには、調査結果が報告される予定である。当該地区が工業団地として適地と判断された場合には、速やかに工業団地として整備していく。

その他の質問

- ・鳥獣被害防止計画
- ・将来のまちづくり

Q 巡回バスと駅結節を図るダイヤ改正は

A 交通事業者としっかりと会話しながら必要性和実現可能性を検討していく



ひろ せ 英二 議員



Q 渋滞対策として、巡回バス（キャロッピー号）とJR3駅との結節（通勤時間帯）を図るため、ダイヤ改正などの支援策は必要と考えるが、町の考えは。



A 現在の巡回バスについては、役場などの公共施設への交通手段として運行。新駅、土地区画整理の整備が進む中で、JR各駅からの二次交通、巡回バスなどの在り方をどのように見直していくのか。令和7年度に作業を行い、令和8年度から新たな体系で運行を開始する予定である。

Q 菊陽町の時差出勤導入の考え方と数値目標を示せ。

A 朝夕の通勤時間帯の交通渋滞緩和を目的に試行的に導入。県などが取り組み、一定の効果を上げていることやセミコン内の企業が実施していることを踏まえ、正規職員や会計年度職員を対象に通常の8時半のほかに

7時半、9時半を加え、3月末まで試行的に実施。3割を数値目標としている。効果を検証し、本格的な導入につなげていく。

Q 渋滞対策として自動車通勤時の複数乗車の推進について町の考えは。



A 複数乗車により、通勤時間帯の車両減などで渋滞緩和に貢献すると考えている。また、環境負荷の低減が期待される。課題として出勤管理が複雑化するなどのリスクはあるが、企業や通勤車に広く周知し、方策について関係行政機関やセミコン交通対策協議会において研究を進めていく。町職員においても可能な限り呼びかけを行って行く。

Q 役場職員が公共の場を駐車場として使用する場合は、有料化すべきではないか。



A 菊陽町役場の職員駐車場は、仮設駐車場として利用している。職員駐車場については、庁舎の整備と併せて進めているところであり、その中で有料化の是非についても検討していきたいと考えている。その他の施設についても併せて検討していく。

総合ターミナル「さんふれあ」

Q 「さんふれあ」と「総合体育館」を結ぶ屋根付き専用通路設置を提案するが町の考えは。



A 専用通路設置により、総合体育館からの人流をさらに促し、利用客や農産物直売所の売り上げの増加につながり、経済効果はさらに大きくなると思われる。両施設は、車両が行き交う駐車場を隔てて建設されており、連絡通路の設置については、利用者の安全を考慮した設備が求められ、工事費は、おおむね5000万円と試算している。施設の利用を促進させることは、施設の活性化と併せ、サービス向上にもつながる重要な取り組みであり、さらなる魅力ある施設づくりに努めていく。

その他の質問

- 役場職員の活性化
 - ・ 職員の取得日数
 - ・ DXの進捗状況、人材の部外活用
 - ・ 信賞必罰の導入
- 総合ターミナル「さんふれあ」
 - ・ 両スポーツジムの統合

Q 町長公約独自の奨学金の拡充とその実施時期は

A 町奨学金制度のあり方の制度設計を行い、任期中の実現を目指す



あつこ 矢野 厚子 議員



Q 町長公約に、町独自の奨学金の拡充とあるがいつを目途に実施するのか、また具体的な内容は検討しているのか。

A 奨学金制度の返済が課題になっている点に着目し、他の奨学金制度利用者の返済額を一部助成したり、現在返済に困っている方の支援策を検討したい。また、今後の可能性ある人材の育成のために、学び直しをした社会人も国内外の場所ですべてグローバル社会に着目した視点で、今後の町の奨学金制度のあり方についてしっかり制度設計を行い、任期中の実現を目指す。

Q 町の奨学金の借り手が少ない原因は。

A 他に比べて貸付額が安かったり、対象者を限定しているのが原因と分析している。

Q 新たに奨学金の返済不要や減額の制度を制定できないか。

A まず返済が困難な方のサポートを優先し、給付型については、他の市町村の取り組み状況を調査し検討していく。



Q 夏場の高齢者の電気代の補助はできないか。

A 年金生活でゆとりのない高齢者は、エアコンがあっても電気代が気になり我慢している。電気代の補助をする考えはないか。

A 全国的な課題であり、国の議論を待ちたい。

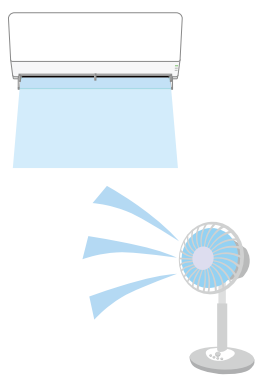
Q 夏場の公民館の電気代を補助する考えはないか。

A 夏場の居場所として活用できる公民館の電気代を補助できないか。

A 熱中症対策として、クーリングシエーターを16カ所指定している。そこを利用してほしい。

Q 歩いて行ける場所がないか。

A 今後、歩いて行ける場所に広げる展開をしたい。



Q 地域の祭りを支援することで、人と地域のつながりを作るといふ町長の公約について

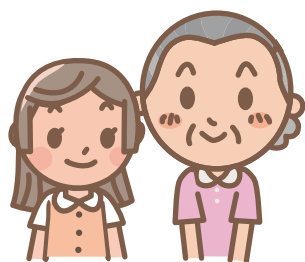
A 「温故知新」こそ私たちの郷土愛を育む原点であり、先人たちが心血を注いで築き上げた有形・無形の文化遺産である。今こそ郷土歴史の源流を訪ね後世に伝えることが行政を預かる者の責務であると菊陽町史に残しているが、祭りなどの支援をする考えはあるか。

A 各地域の祭りや伝統文化行事は、地域における文化・歴史の継承や住民の連帯意識の向上に大きく貢献している。地域コミュニティ再生を目的とした地域行事に財政支援も期間限定で行った。新たに開催する祭りについては既存の補助制度の活用と周知に努め、これまでに開催してきた祭りや過去に途絶えた祭りの復活などの支援についても、補助制度の拡充による見直し等を進める。

Q 子ども会や老人会の役員の成り手不足について

A 子ども会や老人会の役員の成り手が無くて解散するところが増えているが何か支援策は。

A 子ども会については運営や活動に関する相談に対してのアドバイザーや情報提供などの支援は行っているが提案の地域おこし協力隊の活用は考えていない。ただ、単位子ども会行事の活性化に向けた財政的支援については検討していきたい。老人会の運営支援の在り方については要望を聞き、団体の自主性を損なわない範囲で検討する。

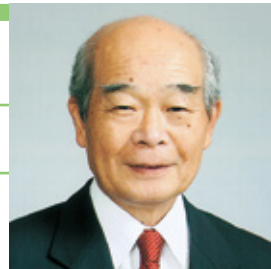


その他の質問

- ・高齢者の健康診断の受診状況
- ・精密検査の受診状況

Q 水量・水質保全への理解と協力は得られるか

A 生産者・企業ともに事業への理解と協力が進んでいる



かい せい じ 議員
甲斐 榮治

◆主食米の栽培を増進することによって地下水を涵養する事業を、白川中流域等水稻作付推進協議会【以下、協議会と略す】が取り組み始めた。

Q 協議会の事業に参加する企業や生産者は増加したか。

A ①地域で栽培された米を購入・消費するウォーターオフセット事業と②主食用米の作付を維持・拡大する事業を進めている。①については、本年度の参加企業は1社だったが、来年度には2社、再来年度には4社が参加する見込みである。

また、令和4年度産米生産者208人の内87人が参加している。②については、現在のところ1社が参加の意向であり、生産者は125人の賛同を得ている。この内、58人は作付面積を拡大予定である。

これが実現すれば、地下水涵養量は104万㎡に達し、目標をオーバーすることができ。企業や生産者とも今後も賛同者は増えると推測している。

Q 協力の金の配分について、作付面積を基準とすることは決定したか。実施年度はいつからになるか。

A 決定した。令和7年度産米

からの実施となる。対象水田の一筆一筆を確認する。

Q 地下水財団との協力関係はできたか。

A ウォーターオフセット事業のうち小口のもは地下水財団を窓口とし、企業向けの大口案件については、当協議会の事業に移行の方向で調整している。

環境保全の点検は万全に

Q 熊本県及び本町における地下水の水質及び水量点検の実状と計画を示せ。

A 熊本県では本年5月に地下水保全推進本部が設置され、本町もその幹事会に出席している。セミコンテクノパーク内の観測井戸を含む2箇所の井戸で観測した水位データを県のホームページで誰でも常時見ることができる。

半導体工場からの排水については、法令に基づく監視がなされる。令和5年8月から規制外物質の環境モニタリングが実施されており、今年度末に結果が公表される。

Q 地下水への有機フッ素化合物混入についての全国及び熊本県の実況はどうなっているか。

A 全国では、調査317地点

のうち、国の暫定目標値を超えた地点は43地点。主に都市部とその近郊である。

熊本県では、本年6月から9月にかけて、熊本市を除く地下水60箇所・河川13箇所調査がなされた。PFOS及びPFOA、PFHxSの検査でいずれの地域も目標値以下であった。ただ南関町の産業廃棄物の最終処分場にある観測井戸から目標値を超える数値が計測され、原因究明に向けた調査が進んでいる。



稲作・水を湛えた水田

各方面の意見を十分に聴く

Q 第7期総合計画策定は進んでいるか。住民への説明や意見聴取はおこなうのか。

A 若手から幹部職員に至るまで全庁あげて基本構想の素案を創り上げた。11月には外部有識者等で構成する「策定審議会」でも審議された。

住民懇談会については11月から始めており、6小学校区すべてでとりおこなう。12月からパブリックコメントも開始する。住民の意見を基本構想や基本計画にしっかりと反映したい。

新駅・新区画に民間知見を

Q 新駅建設及び新土地地区画整理事業の概要を示せ。

A 三菱商事【株】と三井不動産【株】と事業検討パートナー協定を結んだ。民間事業者の知見を活用して、令和8年度までに新しい町の配置を決定する。この新たなまちづくりとの整合性をとり、「まちづくり」と「地域公共交通」の拠点として進めれば、新駅は国の交付金の対象となることができる。



新駅・新土地地区画整理地域の想像図

Q みどり園のフェンスは低いので侵入対策を

A 既存のフェンスの高さを上に伸ばす対策を今後予算要求



にしもとともはる
西本 友春 議員



Q みどり園のフェンスは低く、簡単に人が侵入できる。また、なかよし園も侵入の可能性があるので対策について町はどのように考えているのか。

A 両園の防犯対策については年間計画に位置づけ、不審者の侵入を想定した実践的な訓練や園内研修を年6回行っている。緑園の北側のフェンスは1.3mで駐車場と隣接していることから、不審者などがフェンスを越えて園内に侵入することも想定される。侵入防止の対策が必要であると考えており、緊急的な対策ができるものは早急に対応し、抜本的な対策が必要なのは今後計画しているなかよし園建て替えやみどり園の大規模改修の際に対応したいと考えている。

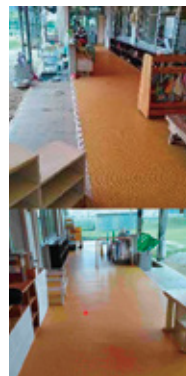
Q みどり園のフェンス対策は早急に必要だがどのように取り組むのか。

A 既存のフェンスの上に伸ばす対策について今後予算要求を行うことを考えている。



Q みどり園の中廊下は梅雨時に滑るため、滑らない対策と両園のトイレのドライ化及び年長さんの利用する便座を少し高めにすることを提案する。

A みどり園の中廊下は、梅雨時期は滑りやすくなるため、緊急的な対応として、適宜雑巾等での拭き上げや、各部屋への出入口及び通路の曲がり角に、簡易的な滑り止めマットを設置し、安全対策を講じている。今後施設の大規模改修に併せて、抜本的な安全対策を行う。



両園の幼児用トイレの床はタイル貼りで、衛生面や滑りやすい危険性を考慮するとトイレのドライ化は必要であり、それぞれの施設の建て替えや大規模改修の際に、対応する。



なかよし園の便座は2歳児からの仕様となっている。対応が必要と認識しており、今後予定している施設の建て替えの際に、年齢相応に応じた洋式便器を設置する。

車いす用の記載台を選挙区と比例区の2ヶ所に

Q 選管に確認をしたら、小選挙区と比例区のシートは用意しているが、小選挙区と比例区のシートを別々に表示することが困難なためにシートを重ねる形をとっているとのことだが、車いす用の記載台を選挙区と比例区の2ヶ所に配備すべきと提案するが町はどのように考えているのか。

A 町選挙管理委員会では保有する車いす用の記載台は10台で、投票日当日の投票所は10ヶ所で、投票環境改善につながるものであり、配備に向けて選挙管理員会で準備を進めたいと考えている。



学校の防犯カメラの増設及びシステム変更を提案

Q 菊陽町の小学校では、生徒の増化に伴う増築工事が行われた所があり、現場を確認したところ防犯カメラで見えない場所があり、今後カメラの位置変更や増設をどのように考えているのか。

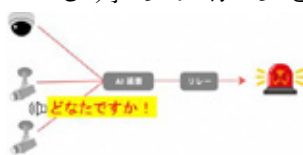
その他の質問

- ・投票率の向上施策
光の森町民センターにおける期日前期間の延長
選挙割の実施
- ・認知症対策
位置情報サービスの検討状況
QRコードシールの導入
- ・マイナ保険証

A 警備委託会社の協力のもと、防犯カメラの設置箇所や死角になっている箇所の現地を確認し、位置の変更や増設について提案の結果、カメラの増設や移設が必要な台数は、小学校が全部で18台、中学校が全部で6台あり、児童・生徒の安全確保のために、改善に向けて積極的に取り組んでいく。

Q 防犯カメラの人の感センサーと連動したパトライト及び音声通話ができるシステムへの変更を提案するが、町はどのように考えているのか。

A 不審者等に対し、一定の抑止効果があるものと認識しており、校長会等を通じて、各学校の意見を聴取しながら、必要性について、近隣市町村の導入状況や費用対効果などを研究して判断する。



Q 今後の管理運営業務の委託先選定方法は

A 公募が原則というところで整理していく



おおく ぼ あきら
大久保 輝 議員



総合体育館

Q 菊陽町総合体育館の管理運営業務の委託先をNPO法人クラブきくようへ特命で随意契約しているが、なぜ特命での随意契約となったのか、他の業者との比較検討は行ったのか。

A 比較検討は行っていない。クラブきくようについては、運営実態的にしっかりとしているという判断の下、単独随意契約を行っている。

Q 今後、他にも様々な施設をつくっていくことになるかと考えられるが、今後の管理運営業務の委託先について、その選定方法をどのように考えるのか。

A 指定管理の運用指針を今、定めているところであり、その中では公の施設の指定管理においては公平性の観点、効率的な

事務委託の観点から公募が原則というところで整理していく。

JASM第2工場の開発許可等について

Q 町は開発許可申請にどのような関わるのか。

A 開発許可の許可権者は国だが、町は進達事務、經由事務という形で関わっており、申請は町を経由後、正式に県において受付される仕組み。町では、書類の形式的な審査に加え、町が定める都市計画に適合しているかなどの視点でチェックを行う。

Q 6月に開発許可が下りた後の9月定例会において、町所有の土地とJASMの土地の交換についての議案審議が行われている。土地交換に関しては町議会の議決が必要であるにもかかわらず、その前に町所有の土地も含めて着工していることになっているが、この点について問題はないのか。

A 本件土地交換に係る一連の手続きについては法的な手続きを踏まえ、適切に行っている。

Q 環境アセスメントについて、県からの意見照会に町として「意見なし」と回答したということだが、町内外から環境負荷に関する懸念の声がある中で、町民や議会へ何らかの説明や報告をしていたか。

A 町民への説明等は行っていない。



造成工事が進むJASM第2工場用地

A 端末上でネットワーク上の2つのセキュリティ対策を講じている。タブレットを更新しても引き続き情報漏洩がないよう対策に万全を期していく。

Q タブレット導入によって、学力や学習意欲に変化は見られたか。

A タブレットを活用し、意見の交流を学校全体で行うことができるようになり、様々な意見を比較し、よりよい考えを導き出すなど思考力を鍛えることにつながっている。タブレット端末は、教育の新たな可能性を広げるツールであり、ICT機器の活用は不可欠である。

学校におけるタブレット端末について

Q 児童・生徒の情報保護のためにどのようなセキュリティ対策が講じられているか。



Q 菊陽町における農家数は10年前と比べ増減は

A 2020年のデータでは10年間で40戸減少



よしむら きょうすけ
吉村 恭輔 議員



Q 菊陽町は半導体企業の進出や今後進んでいくアーバンスポーツ施設・区画整理事業等、益々発展していくと思うが、いくら町が発展したとしても菊陽町の基幹産業は農業であると考ええる。しかし全国的に農業に従事する人口の減少・高齢化が進んでいる。2030年には約83万人、2050年には約36万人になると予測されているが、菊陽町の農家数は10年前と比べ増減はどうなっているか。

A 農林業センサスの統計において直近の2020年が139戸、10年前の2010年は179戸であり、10年間で40戸減少している。

Q 今後も全国的に農業従事者の減少が予想される中、町は現状をどう捉え今後の農業をどう発展させていこうと考えているのか。

A 全国的に担い手の減少、宅地化や耕作放棄地の増加による農地面積の減少等、大変厳しい状況にあり、菊陽町も例外ではなく経営体の育成・強化及び新規就農者の確保・支援が求められている。今後の農業振興については農地の集積・集約化による規模拡大と生産性の高い農業の展開により、専業農家を増やすことを大きな目標に掲げている。



避難訓練について

Q 避難訓練は各学校・保育園単位で行われているのか。

A 各学校・保育園単位で行っている。

Q 平日の昼間に地震が発生したと想定し、全学校・保育園・保護者・行政・関係機関を含めて一斉避難訓練を実施すべきと考えerがどうか。

A 平日の昼間を想定した全学校・保育園での一斉避難訓練は実際の避難行動を確認し、避難経路や緊急時の対応、体制の課題を洗い出すことができるため大変意義のある訓練になると考えている。全学校・保育園を対象とした一斉避難訓練が同日に実施できるか教育委員会・学校・保育園・関係機関等と協議、検討する。

通学路について

Q 下津久礼区の県道瀬田竜田線を通る通学路が非常に危険である。現在1名、再来年度に4名が通学する。対応はできないか。

A 指摘の箇所についてはまず学校に報告し、道路管理者の県とも協議していく。



Q 県道瀬田熊本線のバイパスについて、進捗状況は

A バイパスについては「南部地区新設道路」として検討している



ば ば こう せい
馬場 功世 議員



Q 県道瀬田熊本線のバイパスについては、毎回質問をしてきた。最初の答弁は県に陳情しなければならぬ、南校区で署名活動の後には、予算化された。やっと動き出したと感じたが、今回進捗状況は。

A 県道瀬田熊本線のバイパスについては「南部地区新設道路」として検討しており、町全域の主要道路の将来交通量の推計を行う、道路ネットワーク検討業務において、南部地区新設道路を整備した場合の将来交通量について、検討してきた。

県道瀬田熊本線を通して交通量は、南部地区新設道路に集中する結果となった。県道瀬田熊本線の交通量が減少し、生活道路としての安全性の向上が期待され、さらには、南小学校区の発展活性化も視野に入れた道路整備を目的として、令和6年11月より、図面上で最適なルートと比較案を検討する、道路概略設計業務に着手したところ。

Q 新道路の整備に伴う付加価値の創出の中で、基盤整備の行われていない農地や山林、集落内空き地等に住宅の集約はできないか。



A 集落内開発など開発許可制度の要件の緩和について許可権者である県への要望を通じ取り組んできた。「集住ゾーン」については、都市計画マスタープランの改定作業と並行し、具体的なゾーニングの検討を進めている。

検討の対象となるエリアには「基盤整備が行われていない農地」や「山林」集落内の空き地」も含まれる。なお「農地」については、農業的土地利用との調整が必要となることから、今後、農政関係部局との具体的協議に入る予定、南校区の発展につながる土地利用については、都市計画マスタープランの見直しと併せしっかりと検討を進める。

Q カーブミラーの設置について住宅から道路に出る際、見え難いところにカーブミラーが設置されている。場所によっては個人で設置されている。これに、助成や町独自で設置はできないか。また老朽化して見えにくいカーブミラーの取替えはできないか。

A 「菊陽町道路反射鏡設置及び維持管理要綱」では、「特定の個人または事業所の出入口となっている道路である場合」には道路反射鏡を設置しないものと規定している。

カーブミラーを設置する場合は、区、自治会からの要望に基づき、危険性と公共性を確認し、予算の範囲内において、優先順位を付け設置している。

住宅から道路へ出る場所への設置助成や、町が独自で個人宅からの出入口に設置することについては、現時点では考えていない。老朽化したカーブミラーについては、確認して予算の範囲内で交換していく。

Q 子ども食堂への助成の状況は。



個人設置のカーブミラー

A 令和5年度から「熊本県子どもの貧困対策推進事業費補助金制度」を活用して、町内で子ども食堂を運営する民間団体等に対して、運営に係る経費の補助を開始している。子ども食堂への助成状況は、令和5年度は、2団体にに対し、計23万円を交付し、令和6年度は、現在のところ4団体から交付申請があり、計40万円の交付決定を行っている。町社会福祉協議会では、県営武蔵ヶ丘団地の一角に開設している「ほっとステーション武蔵ヶ丘」を、子ども食堂の活動支援のため、NPO法人に対し、場所の提供を行っている。

Q 図書館の駐車場について玄関前に障がい者用の駐車場が2台分設置されているが、増設の計画はないか。

A 増設の計画について第2、第3駐車場を合わせると駐車施設の総数が330台に増え、必要台数としては6台となり基準への適合に努める。

その他の質問

- ・ 菊陽町地域防災計画
- ・ 生活保護



Q 町内の防犯灯設置状況について

A 必要な場所への防犯灯の設置を進めていく



ふじもと あきふみ
藤本 昭文 議員



Q 夜間の現況調査は行っているのか。

A 夜間の現況調査については、町が設置した防犯灯については、定期的ではなく、町民の皆様や区長、自治会長などからの情報提供を基に、必要に応じて調査を実施している。また、区、自治会が設置した防犯灯については、町に情報提供があった場合は、その内容を区長、自治会長へ連絡をしている。

Q 回答の現況調査とは、これは防犯灯の球切れや故障、破損のことだと思われるが、質問したのは、夜間、実際に町内を歩いてみて、暗いと感じる所や不安や恐怖を感じる、そういった場所がないかという意味での現況調査のことだが、そういう調査は行っていないのか。

A 夜間の調査については、区、自治会、また住民から暗い場所について防犯灯の設置依頼が出た場合は、夜間に現地を見て、必要かどうかを確認している。要望等がない箇所については行っていない。

A (商工振興課から補足回答) 町内ではないが、セミコンテクノパーク内の暗い箇所について

では、先日、セミコン内の企業と一緒に現地を歩き、夜間の状況を確認した。

その中で、やはり暗くて歩きにくいという現状を確認した箇所は、今後解消していきたいと考えている。そういった調査は、セミコン内では行っている。

Q 町内の調査は区長や自治会長からの要請で行い、セミコンテクノパーク内については、積極的に行っているという回答だが、実際に夜間、菊陽町の色々な所を見て回ると、非常に暗い場所も多く、びっくりする。そういう状況も踏まえて、防犯灯設置状況は決して充足しているとは言えない状況だと考えるが、町の考えを寄せ。

A 防犯灯の設置については、菊陽町防犯灯設置規程に基づき、区、自治会または町で設置を行っている。区、自治会で設置される場合は町から補助を行っており、その区域外については、区長、自治会長の要望や、地域住民からの情報を基に、現場の状況を確認し、必要に応じて設置を進めている。今後も引き続き、必要な場所への防犯灯の設置を進めていく。

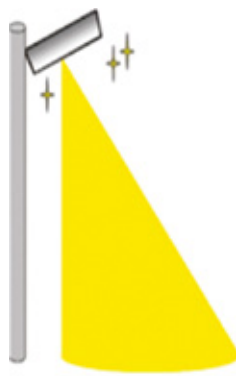
Q 答弁中の、菊陽町防犯灯設置規程というものはいつ頃作られた規程か。また、防犯灯設置補助とは、具体的にどのくらいの補助が行われ、補助以外の部分は誰が負担しているのか。

A 菊陽町防犯灯設置規程は平成22年から施行している規程で、設置費用の2分の1を補助しており、補助以外の部分は、区、自治会の負担となっている。

Q 設置時に2分の1の補助、それ以外は維持管理も含めて区、自治会で行っているということだが、そもそも区、自治会は営利団体ではなく、その運営費は区費や自治会費、要は町民の皆さんの負担で賄われている。TSMCの進出で大きく変貌しようとしている菊陽町だからこそ、古い規程や慣習、固定観念にとらわれることなく、今こそ大胆な変革が求められている。町長が常々おっしゃる日本一の町、「成長しつづける町。」菊陽、これを目指すのであれば、この変革への対応は避けられない、そう考えるが、町長の考えはどうか。

A やはり自助、共助、公助という部分を考えると、何でも

町がということではなく、住民の方々に頑張ってもらいたい。JASMの税収があるからといって、色々な所に町が負担をすることは、今のところ考えていない。



その他の質問

【役場窓口業務】

- ・ 開庁時間の延長
- ・ 各種証明書コンビニ交付の拡大予定

【サテライトキャンパス誘致】

- ・ 誘致の目的、メリット、デメリット
- ・ 全寮制インターナショナルスクールの誘致
- ・ 当該施設の誘致検討



Q 今後、農商工業者の支援をどのように強化していくのか

A 地元産品を集めた販売会や、住まいに関する相談会の開催を考えていく



おに つか 鬼塚 洋 議員

中小企業等への支援の強化を！

半導体関連の大企業の進出により、周囲から見ると景気の良い町と思われている本町



しかし、県商工会の景況調査によれば、こうした大企業に影響を受けていると回答した中小企業・小規模事業者は約1割にすぎません。

一方で、大企業の進出を原因とする地価の高騰、近年の燃料高を含む、あらゆる物価高



さらに、少子化に伴う深刻な人材不足により、多くの中小企業、小規模事業者の経営が逼迫（ひっばく）されています。

そこで、本町は、中小企業等が借入れをした場合の利息補助や、展示会への出展支援



商工会のポータルサイトを活用したイベントの紹介等を行っていますが、未だ中小企業等に対する支援は不十分であると考えます。

そして今、本町には、新規創業にまたとないチャンスが広がっていますが、



先進自治体では、新規创业者の創業相談や家賃・備品代等の補助等を行っており、本町でもそうした取組みが求められます。

また、中小企業等への支援窓口は、地域に密着している町の商工会が適していますが、



町の商工会においても、会員が増える中で人員不足、財源不足の状況にあり、新規事業等に取り組む上で、補助金を増額すべきです。

Q 町長の政策提言の一つに、「農商工業者への支援を強化し、活力のある菊陽町に繋げる」とあるが、現状の支援内容と、今後強化していきたいと考える支援内容は。

A 現在、①商工業者が経営近代化のために設備投資に関わる融資を受けた場合に、利子の一部を補助する事業、②製造業を営む中小企業者の販路拡大を目的として、首都圏での大規模展示会への出展経費の一部を補助する事業を実施し、③商工会のポータルサイトで、飲食店等の事業者やそこで実施するイベントを紹介するなどしている。今後は、地元金融機関や商工会と連携して、町内事業者の産品を集めた販売会の実施や、住まい

のことならお任せ隊と協力して、住まいに関する相談会の開催を考えている。

Q 町長の政策提言の一つに、「町内で起業する方へのスタートアップ支援」とあるが、現在の支援内容は。

A 昨年より、新産業、新事業の創出を促進するため、創業時に必要な資金の融資を受けた方に対し、その利子の補助をする事業を実施している。

Q 事業開始から1年以上が経過して申請は1件と、少ないと考えるが、本町の認識は。

A 当初は、もう少し需要があると考えており、申請が少ない理由は把握できていない。

Q 隣の太津町では、昨年より、創業支援補助金を設け、創業時の備品代や家賃を補助しており、既に数件の申請があつている。本町でも、家賃が高騰しており、同様の補助金を創設すべきでは。

A 商工会と連携をし、事業の持続可能性やチャレンジ性を審査する仕組みを構築し、審査を通過した事業者を対象とした新たな補助制度を創設するなど、具体的な支援策を検討していく。

商工会への支援について

Q 本町から商工会への主な補助金と、その給付額は。

A 本町から商工会への主な補助金と、その給付額は、一昨年まで毎年950万円、昨年より毎年1250万円を支給

している。

※ 商工会が、地域の事業者が販路開拓や生き残り策を考えて実行することを手伝いするための事業計画

Q 町長の政策提言の一つに、「農商工業者への支援を強化し、活力のある菊陽町に繋げる」とあるが、現状の支援内容と、今後強化していきたいと考える支援内容は。

A 現在、①商工業者が経営近代化のために設備投資に関わる融資を受けた場合に、利子の一部を補助する事業、②製造業を営む中小企業者の販路拡大を目的として、首都圏での大規模展示会への出展経費の一部を補助する事業を実施し、③商工会のポータルサイトで、飲食店等の事業者やそこで実施するイベントを紹介するなどしている。今後は、地元金融機関や商工会と連携して、町内事業者の産品を集めた販売会の実施や、住まい

Q 町長の政策提言の一つに、「町内で起業する方へのスタートアップ支援」とあるが、現在の支援内容は。

Q 基盤整備した農地は守るべきではないか

A TSMC進出を受け、やむをえない所は決断しなければならない



こばやし くみこ 議員 小林 久美子



人参畑

Q この15年位の町の農業人口と農地面積の推移はどうなっているのか。

A 農家数は、2005年が559戸で、2020年には296戸まで減少。農地面積は、この14年間で500haほど減少している。

Q 今後の農家数や農地面積の予想はどうか。

A 現在50歳未満の若手経営者は55人で、県平均より多い。この12年間の新規就農者は32人で、これまでの支援策の効果があつたと考えている。しかし、全国的にも高齢化が進む中、本町も例外ではない。農地面積については、「基盤整備済みの農地を守るべき農地」と位置づけている。

Q 今年、コメ不足が問題になったが、主食米を生産・販売している農家数はどれ位か。

A 令和6年度の主食米生産者は182名、水稻の栽培面積は、84・5haである。

Q アーバン施設の農地は、基盤整備済みの農地も含まれており、しっかり守るべきではなかったのか。

A 農地の中で、基盤整備済みの農地は全体の約7割であるが、TSMCの進出をうけやむをえない所は、決断しなければならない。

アーバン施設の農地は、守るべき農地ではないか



キャベツ畑

企業進出による地下水にかかわる農家への影響について

Q ソニーや富士フイルムなど今まで誘致してきたが、地下水の汲み上げなど、農家への影響はなかったのか。

A 企業の取水に対して、農家からの意見は聞いていない。

Q 私はこれまで、ソニーや富士フイルムなどの井戸の汲み上げ量を聞いてきたが、この10数年明らかにされていない。ある農家の方によれば、近くに大企業が進出して、1976年に井戸を掘った時と比べて、水位が7メートル下がった。今後の地下水の水位についても不安をかかえておられる。町は、農家への影響を調査するべきではないか。

A 農家の方からのご意見については、今後対応していきたい。



ソニー水系観測井戸

地下水の再利用率を高めることはできないか

Q JASMの地下水の再利用率を高める働きかけができないか。また、TSMCの台湾の工場での再利用率は何%なのか。

A TSMCの報告書では、水の再利用率は、86・7%と公表されている。

Q それでは日本でも80%位の再利用率は、可能ではないか。

A JASMの水の再利用率については、台湾のサイエンスパークの計算式で算出すると、同等もしくはそれ以上の高い再利用率になる。



その他の質問

・給食への地元農産物の使用



常任委員会報告

- 経済産業建設常任委員会
- 文教厚生常任委員会

- 総務住民生活常任委員会

経済産業建設常任委員会

委員長…矢野厚子

経済産業建設常任委員会では、10月17日18日の2日間、千葉の流山市と隣接する柏市の柏の葉スマートシティの視察研修を行った。

流山市

流山市は菊陽町とほぼ同じ面積ながら全国でもトップの人口増加率で、約21万の人口を有する街づくりを、町の課題解決の参考とするため視察を行った。

都市計画は「都心から一番近い森のまち」というスローガンのもとに「流山市街づくり条例」や「街づくり環境配慮指針」などがあり、特に緑の保全に関しては、小学生向けの学習教材もあり、将来に向け緑保全の担い手育成も確実に行われていた。個人宅においてもガーデニングが盛んで、オープンガーデンのイベントが、多くの観光客を呼び込んでいたのも驚きだった。



「流山市視察研修」

柏市

2日目に研修した「柏の葉スマートシティ」は元々三井不動産の所有するゴルフ場であり、2008年に「世界水準の先端モデル都市形成」を目指し構想された街で、千葉県と柏市（公）三井不動産他（民）東京大学・千葉大学（学）の連携と共創による街づくりの実証実験が行われている。

ここでは朝から沢山の親子が通学を共にする姿が見られ、駅前の商業施設には「あるく・しゃべる・たべる」の頭文字を取った「あ・し・た」という健康研究所があり、いろんな企業が関わり、健康チェック・相談が常時行われている。菊陽町も今後、健康保健センター等を開設する際は、このような施設や仕組みを是非参考にするべきと感じた。また放射線治療を受ける癌患者向けのホテルがあり、心身共にケアすることの大切さも感じた。また若い研究者や起業家向けのラボラトリーや交流の場を有する施設が幾つもあり、常に最新の情報を求めて、変化に対応する街だと感じた。菊陽町が「成長し続ける町」であるためには、幾つもの事例が参考となり、原水駅・新駅周辺の開発のイメージ作りとしても役に立つと感じ、有意義な視察研修となった。



「柏の葉スマートシティ」



「空港線堀川またぎ現場」



「町宮住宅」



「総合体育館テニスコート」



「空港線県道またぎ陸橋」

12月議会中の常任委員会視察として、町が係る工事中の各現場を視察した。各現場とも予定通りに順調にかつ安全に配慮して進められており、それぞれの完成が待たれる。

総務住民生活常任委員会

委員長…廣瀬英二

各施策の現地視察研修

令和6年12月10日に常任委員6名と総務部長、住民生活部長の8名で現地視察研修を行った。

菊陽空港線延伸道路整備工事 (令和8年度末完成予定)



増設された右折レーン



増設された左折レーン



南側から見た原水駅付近



北側から見た原水駅周辺



アーバンスポーツ造成



九州最大規模「アーバンスポーツ施設」の造成工事 (令和8年度末完成予定)
総事業費26億円をかけて、都市型スポーツ施設整備が行われている。



区画整理事業予定地



(仮称) 原水駅周辺土地区画整理事業
JR新駅と原水駅間の約70ヘクタールのエリアにおいて、将来ビジョン(熊本版サイエンスパーク構想) 具体化に向けて、半導体企業集積としてふさわしい先進的なまちづくりが今後進められていく計画である。

多目的広場・テニスコート整備工事 (令和6年度末完成予定)



多目的広場



テニスコート

現場視察研修終了後

現場視察を行いながら、有意義な意見交換ができ、町施策の概要を常任委員会の委員が確認ができたと感じている。次回は菊陽町の課題である地下水保全についての勉強会を県の担当者と行う予定である。

文教厚生常任委員会

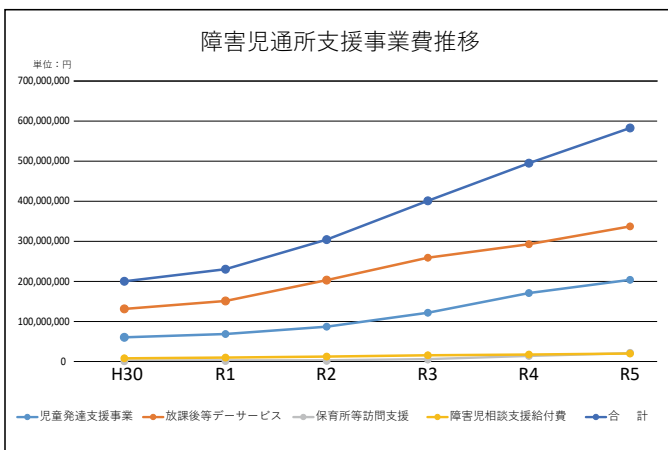
委員長…大久保輝

12月補正予算について、主な内容は次の通り。

学務課 令和7年度から学校給食無償化・公会計化となる。物資調達を開始するため、債務負担行為1億1千万円。

生涯学習課 委託料1千217,5万円。令和7年3月に開催されるNHKのど自慢に係る費用。

福祉課 障害児通所支援サービス費1億1078,5万円増。令和元年以降、毎年約1億円の予算増となっている。
※グラフ参照



研修報告

熊本県町村議会広報コンクール 表彰・広報研修会

担当：西本 友春

【日時】 R5 / 11 / 6

【場所】 グランメッセ熊本

県内の各自治体から応募のあった「議会だより」について、優秀作品の表彰があった（特選は湯前町、入選は大津町と御船町、特別賞は高森町）。

審査のポイント

- ・表紙のテーマと中身との連動性
- ・議会の活動や課題についての多面的な考察
- ・文字の使い方やイラストによる視覚化 等

本町の「きくよう議会だより」（R6・6月号）に対する講評は概ね以下のとおり。

（良かった点）

- ・TSMCによる町への影響等、町民の不安に応えたいという姿勢があった
- ・年間議会活動スケジュールが円型で見やすい
- ・予算等への議員の賛否を一覧化しており見やすい
- ・議会の注目事業は地図を使い、事業の場所がわかりやすい 等

（改善すべき点）

- ・一般質問の体裁に統一性がなく、「※」の使い方がばらばら

- ・委員会報告が単に町側の事業説明になっている
- ・公務記録の分量が多い
- ・表紙のイベント（卒業式）と発行日のずれ 等

その後、表彰を受けた自治体の広報委員らによるパネルディスカッションがあった。主な取組みは以下のとおり。

- ・高校や大学等と連携した特集記事の制作
- ・YouTube 映像等の視聴数ランキングの掲載
- ・「議会だより」の毎月発行（本町は年4回）
- ・紙面内容に対するアンケートの実施
- ・町民に対する積極的なインタビュー



本町に対する講評を議会全体で共有し、優秀な自治体の良い点に倣いながら、より良い「議会だより」づくりに活かしていきたい。

広報調査特別委員会視察研修

担当：鬼塚 洋

【日時】 R6 / 1 / 22 ~ 23

【場所】 ①大刀洗町議会

②糸島市議会

議会広報に定評のある福岡県内の2議会を視察し、各広報委員より、魅力ある議会広報のあり方、議会だより作成のポイント等について説明を受けた。

- ①「たちあらい議会だより」は、8年連続で全国コンクールに入賞しており、住民と議会の双方向けの紙面づくりに取り組んでいる。紙面は本町と同じA4サイズで毎号20頁前後、議会の政策サイクルを特集し、町の予算についても、概要↓主要事業↓審議↓討論↓議決↓意見の流れを視覚化するなど、二元代表制の両輪である町長と議会の職責がはっきりとわかる紙面構成であった。また、議員の一般質問で、町が「検討する」と答弁したもののについて、その後の町の検討状況を掲載し、毎年開催される議会報告会での住民の意見を紙面上にまとめて政策提言に生かす等、本町としても参考とすべき取り組みが数多くあった。

②「糸島市議会だより」は、住民アンケートの結果、閲読率の低かった

たいわゆるSNS世代をターゲットに、一文を単文にし、見出しで要旨を伝えられるよう紙面改善に取り組んでいる。紙面は珍しいタブロイド判（半分サイズの新聞）で毎号8頁、独自の編集要領に従い内容にぶれがなく、表紙には目を引く写真（本年度はまちの原風景）を載せ、記事は定例会の審議内容のうち市民生活に直結するものをピックアップする等、市民を引きつけ、誰にでもわかりやすい紙面構成となっていた。



糸島市



大刀洗町

議会だより

本研修を踏まえ、より町民に役立つ「きくよう議会だより」を作成していきたい。

議会の活動状況

● 議長の公務記録

日付	事業・イベント名	主催者	場 所
10月1日	庁舎等整備検討委員会 公文書押印	菊陽町	防災センター 正副議長室
10月3日	菊池広域連合議会 定例会 公文書押印	菊池広域連合長	菊池広域連合 正副議長室
10月4日	公文書押印		正副議長室
10月5日	境の松秋祭り（来賓挨拶）	境の松自治会	境の松自治会広場
10月6日	防災フェスタ	菊陽町	杉並木公園スポーツ広場、総合 体育館
10月8日	臨時会 全員協議会 議会運営委員会 公文書押印	町長 議長 議会運営委員長	議場 委員会室 委員会室 正副議長室
10月9日	熊本県町村議会議員研修会（ZOOM） 公文書押印	熊本県町村議会	委員会室 正副議長室
10月10日	公文書押印 「議会と親子とが語る会」の町PTA役員と事前協議		正副議長室 武蔵ヶ丘小学校
10月11日	空港周辺四ヶ町村議会議員研修会及び意見交換会	空港周辺四ヶ町村議会議長会	プランヴェールアベニュー熊本
10月15日	公文書押印		正副議長室
10月16日	台湾研修説明会 公文書押印	議会	委員会室 正副議長室
10月17日	千葉県流山市研修	経済産業建設常任委員会	千葉県流山市
10月18日	千葉県流山市研修	経済産業建設常任委員会	千葉県流山市
10月20日	武蔵ヶ丘コミュニティセンター祭（来賓挨拶） 公文書押印	利用者協議会	武蔵ヶ丘コミュニティセンター 正副議長室
10月21日	令和6年度空港フォーラム 担当課より説明	町担当課	正副議長室
10月22日	令和6年度空港フォーラム	全国民間空港関係市町村協議会	東海大阿蘇くまもと 臨空キャンパス
10月23日～ 25日	公文書押印		正副議長室
10月28日～ 31日	公文書押印		正副議長室
11月1日	公文書押印		正副議長室
11月3日	菊陽町文化祭（来賓挨拶）	菊陽町文化祭実行委員会	菊陽町図書館ホール
11月5日	公文書押印		正副議長室
11月6日～ 8日	菊池広域連合議会 議長研修・国へ要望活動	菊池地域議会議長会	東京
11月9日	すぎなみフェスタ2024（来賓挨拶） 議会運営委員会 会議	すぎなみフェスタ実行委員会 議会運営委員会	スポーツ広場 杉並木公園管理センター
11月11日	公文書押印		正副議長室
11月12日	菊池広域連合議会議員定数調査特別委員会 会議 菊陽町農業振興地域整備促進協議会 会議	菊池広域連合議会議員定数調査特別委員会 菊陽町農業振興地域整備促進協議会	菊池広域連合 防災センター
11月13日～ 14日	全国町村議会議長研修会要望活動 公文書押印	全国町村議会	東京NHKホール 全国町村会館 正副議長室
11月15日	第34回熊本県暴力追放県民大会in菊陽 台湾晚餐会	熊本県暴力追放運動推進センター 九州台湾商会・熊本銀行	菊陽町図書館ホール プランヴェールアベニュー熊本
11月16日	菊陽町×台湾 スポーツ・美食フェスタ（来賓挨拶） JASM Smile Day	株式会社熊本銀行 JASM株式会社	菊陽町総合体育館広場 セミコンテックノパーク中央公園
11月17日	鼻ぐり井手祭（来賓挨拶）	鼻ぐり井手祭実行委員会	鼻ぐり井手公園
11月18日	国へ要望活動（道路関係）	菊陽町・菊陽町議会	国土交通省（東京）
11月19日			
11月20日～ 21日	公文書押印		正副議長室
11月22日	町総合策定審議会・町デジタル田園都市構想総合戦略推進会議	菊陽町総合策定審議会	防災センター
11月24日	菊陽町職場対抗スポーツ大会（来賓挨拶）	菊陽町企業スポーツ連絡協議会	開会式：総合体育館
11月25日～ 29日	公文書押印		正副議長室
11月26日	議会運営委員会 会議	議会運営委員会	委員会室
11月27日	11月29日の九州地方整備局への要望活動 スケジュール協議	町建設課長	正副議長室
11月28日	菊池広域連合 飯開事務局長 議員定数調査特別委員会の件		
11月29日	九州地方整備局へ要望活動	町長と同行	九州地方整備局（福岡県）
11月30日	熊本復興映画祭		菊陽町図書館ホール

議会の活動状況

● 議長の公務記録

日付	事業・イベント名	主催者	場 所
12月3日	第4回定例会	町長	議場
	全員協議会	議長	委員長室
12月3日～ 6日	公文書押印		正副議長室
12月4日～ 6日	第4回定例会 一般質問	町長	議場
12月6日	全員協議会	議長	委員会室
12月7日	第40回菊陽町人権子ども集会	人権教育推進協議会	菊陽中学校体育館
12月9日～ 13日	公文書押印		正副議長室
12月11日	菊陽町老人クラブ芸能大会（来賓挨拶）	菊陽町老人クラブ連合会	菊陽町福祉支援センター
12月12日	菊陽北小学校創立150周年記念行事	菊陽北小学校	菊陽北小学校体育館
12月13日	第4回定例会	町長	議場
	全員協議会	議長	委員会室
12月16日～ 20日	公文書押印		正副議長室
12月17日	菊池広域連合議会議員定数調査特別委員会対応 事前協議	桐原・水上・福島（3者議長会議）	正副議長室
12月18日	議会運営委員会 会議	議会運営委員会	委員会室
	飲食業同業組合 来庁対応	飲食業同業組合正副組合長	町応接間
12月21日	令和6年度菊陽町よかつれフェスタ（来賓挨拶）	菊陽町男女共同参画さんさんの会	菊陽町図書館ホール
12月23日	町長へ政策要望書提出	議長	正副議長室
	公文書押印		正副議長室
12月24日	菊池広域連合議会 第3回定例会 全員協議会	菊池広域連合長	菊池広域連合
12月25日～ 26日	公文書押印		正副議長室
12月27日	菊陽町「子ども達に夢を」トークショー	町長、教育長	菊陽町図書館ホール
	年末警戒出発式	町長、町消防団長	防災センター

● 議会運営委員会

日付	事業・イベント名	主催者	場 所
10月8日	議会運営委員会	議会運営委員長	議長室
11月9日	議会運営委員会	議会運営委員長	杉並木公園管理棟
11月26日	議会運営委員会	議会運営委員長	菊陽町役場
12月18日	議会運営委員会	議会運営委員長	菊陽町役場

● 総務住民生活常任委員会

日付	事業・イベント名	主催者	場 所
12月10日	常任委員会	常任委員会	菊陽町役場

● 文教厚生常任委員会

日付	事業・イベント名	主催者	場 所
10月2日	社会福祉協議会 評議員会	社会福祉協議会	社会福祉協議会
10月10日	「議会と親子とが語る会」の町PTA役員と事前協議	菊陽町議会	武蔵ヶ丘中学校
10月29日	菊陽町健康づくり推進協議会	菊陽町	菊陽町役場
12月10日	常任委員会	常任委員会	菊陽町役場
12月24日	社会福祉協議会 評議員研修	社会福祉協議会	社会福祉協議会

● 経済産業建設常任委員会

日付	事業・イベント名	主催者	場 所
10月17日	常任委員会流山市視察	常任委員会	千葉県流山市
10月18日	常任委員会柏の葉スマートシティ視察	常任委員会	千葉県柏市
12月10日	常任委員会	常任委員会	防災センター

● 広報調査特別委員会

日付	事業・イベント名	主催者	場 所
10月4日	広報委員会（9月議会だより1校作成）	広報調査特別委員会	菊陽町役場
10月21日	広報委員会（9月議会だより2校作成）	広報調査特別委員会	菊陽町役場
10月29日	広報委員会（9月議会だより3校作成）	広報調査特別委員会	菊陽町役場
11月6日	広報委員会（9月議会だより4校作成）	広報調査特別委員会	菊陽町役場
11月12日	広報委員会（9月議会だより最終校作成）	広報調査特別委員会	菊陽町役場
12月18日	広報委員会（12月議会だより紙面割）	広報調査特別委員会	菊陽町役場

菊陽町で活躍するみなさま

菊陽町文化協会

文化協会活動目的

菊陽町文化協会は、加盟団体相互の連絡協調を図るとともに、菊陽町の芸術・文化の向上に努め、あわせて町民皆さんの心の向上に寄与することを目的に活動しています。

主な行事

文化祭関連行事

(文化祭・歌謡祭・舞踊祭・展示発表会)



地域交流祭

1年に2回開催しており
この他にも施設イベント出演や
ボランティア活動も行っております。



記念誌作成

5年毎に周年記念誌を作成し
文化祭にて永年在籍者や功労者の
表彰を行っております。

事務局 菊陽町中央公民館3階
会員数 約650名

【部門数】18
【所属団体】52グループ 個人会員10名

年間スケジュール

5月 総会
7月 地域交流祭
8月 協力会員企業回り

9月 文化祭ポスター・チラシ作成
11月 文化祭・文化祭関連行事
3月 地域交流祭

3年に一度、他市町村の文化協会との視察研修

- ・協会では、文化祭や地域交流祭への参加者を募集しています。
- ・個人会員も募集しており気軽に参加ください。
- ・病院や介護施設等へのボランティア活動を行っています。



廃棄物を利用した物づくりで数々の作品に生まれ変わりました。

森茂さん（91歳）の作品を紹介します。（菊陽町津久礼在住）

廃棄物（タバコの空き箱、ペットボトル、チラシ、ビールの空き缶など）をゴミとして捨てずに、人間が持つ創造力で新しい価値観を生み出し循環型社会にふさわしい「物づくり」をされています。

JR退職後30年以上にわたり廃棄物などを利用した物づくりに挑戦され作品は梅の花、五重塔、人形と傘、お城など多種にわたっています。

作品はJR三里木駅に展示されており、目にされた方は何を材料としてどのように作成されているか関心を持たれている人が多いようです。

これまでも、この取り組みが話題となり、RKKラジオ 太田黒浩一の「**今日も元気**」の取材を受けたり、また、地方情報紙「ワンネス」にも掲載されました。



ご本人は「水戸黄門」を見ながら物づくりをすることが一番の楽しみで、「歌こそ我が命」と、CDコレクションも趣味で八代亜紀（270曲）、島津亜矢（150曲）、昭和、平成歌謡曲（360曲）、その他、北島三郎、福田こうへい等のCDも多数持っておられ、歌いながらの創作も楽しみのようです。その光景が目に見えそうです。

（廣瀬英二）



制作中の森さん

○森さんのコメント

◇人から習ったものでなく創意工夫で作成してきた。

◇今まで集めてきた宝くじ外れ券を活用した新作に取り組んでいる。

◇これからも「水戸黄門」を見ながら「歌」と「物づくり」を楽しんでいきたい。

連絡先 ☎096-232-1339



三里木駅に展示された作品

編集後記

吉村 恭輔

明けましておめでとうございます。

今年の干支は「蛇」です。

一説によりますと、蛇年は新しい挑戦や変化に対して前向きな姿勢を示す年とも言われているそうです。

今後、菊陽町はアーバンスポーツ施設・区画整理事業・新駅の開設等の大型事業が続きます。議員も新しい挑戦や変化にしっかりと対応し、より良い菊陽町になるよう活動してまいります。

議会や、議会だよりに対するご意見・ご要望がありましたら、広報委員会にお寄せ下さい。

みなさんの 傍聴を お待ちしています。

議会からのお願い

議会だより取材のため、腕章を着用した議会の広報委員が写真撮影に伺うことがありますが、ご理解とご協力をお願い致します。

発行責任者

議長

編集者

委員長

副委員長

委員

委員

委員

委員

この議会だよりは再生紙を使っています。

福島 知雄

西本 友春

藤本 昭文

廣瀬 英二

馬場 功世

吉村 恭輔

鬼塚 洋